

ぜん きょう じ  
善巧寺報



月刊●善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号  
TEL 048(734)7660 榎本明覚

▼二〇二〇年一月一日▲



●水仙(スイセン)●  
ほのかな甘い香りで春の訪れを知らせてくれる花。その香りは天然香料として香水の原料になっている。学名「ナルキッソス」は「自己陶酔」を意味する「ナルシスト」の語源でもある。

イラスト提供：北條博美（鎌倉組 光明寺 坊守）

季節の花

～水仙～

# 定例法座

毎月 十一日

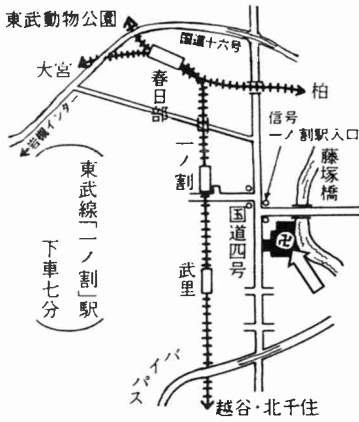
◎一月十一日(土) 午後二時 於善巧寺本堂

## 『新春初御座』

「この世界は心が作っている」

新年、明けましておめでとうございませう。今年もどうぞよろしくお願いいたします。二〇二〇年は、東京オリンピックピックです。世界各国から様々な方が見えになり、草の根の国際交流も盛んになるかもしれません。ラグビーワールドカップの時のように、他国の文化を知り相手が大切にしていくものを尊重するという態度を学ぶ、絶好の機会かもしれません。仏教では、世界は天が作ったものではなく、私たち一人一人が作っているもの、一人一人に広大な世界があるといふのです。

人間なんてこんなもの、と高を括らず、一人一人に広大な世界を見る、そうした人間観に立つ時、異なる文化、異なる価値観を受け入れる心が育つていくのではないのでしょうか。



# みほとけ会月例会

※ポジティブコキョウロロロ※

◎二月二日(日) 午後一時半〜二時半

於宮の坂レンタルスペース

(東急世田谷線宮の坂駅下車徒歩一分)

## 『仏教と食』

巷では、健康的な食生活を求める人や欧米で流行しているビーガン(動物を搾取しないというライフスタイル)の影響で、精進料理がひそかなブームのようです。意外に思われるかもしれませんが、もともとインド仏教には精進料理というものはありませんでした。お釈迦さま以来、僧侶は托鉢によつて食を得ていたため自分で料理をすることはなく、また托鉢で得た食は、時に魚や肉が入っている事もあったため、精進料理というものは生まれなかつたのです。托鉢の習慣が無い中国に仏教が伝えられると、僧侶は自作農を行わねば食を得られないという事態に陥りました。不殺生戒に基づくと不浄肉の禁止もあり、家畜を飼う訳にもかず、また中国土着の潔斎・素食という考え方も結びつき、自然と菜食Ⅱ精進料理として発展していったようです。人にとつてなくてはならない「食」について見なおしてみるのも大切な事ではないでしょうか。

※例会は毎月第一日曜日です

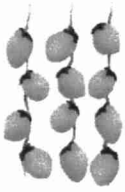
◆◆春日部だより◆◆

◎新年あけましておめでとうござい  
ます。旧年中は、大変お世話になりま  
した。本年も何卒よろしくお願い申し  
上げます。

◎十一日の定例法座は、新年会を兼ね  
て行います。親鸞聖人の好物であつた  
と伝わる小豆粥接待と、良い大人も  
つい熱くなる(笑)「真宗かるたとり大  
会」をいたします。是非お越しく下さ  
い。

◎大晦日「除夜会キャンドルナイト」  
は強風のため、境内ではなく本堂内陣  
にお明かりを灯して行いました。

なかなかお寺に来る機会のない子ど  
もさん方も一緒に除夜のお勤めをし、  
献灯して頂きました。恒例の振る舞い  
大根炊きもなかなか好評のようです。  
今年も行う予定でおりますので、お正  
月支度を早めに済ませて頂きそうも  
いかないんですけどね、「ご家族でご  
参拝下さいませ。またお正月三が日は、  
朝八時より元旦会三が日法要を勤修  
しております。



令和二(二〇二〇)年

年回法要表

回忌 亡くなられた年

一周忌	平成三十一年 令和元年
三回忌	平成三十年
七回忌	平成二十六年
十三回忌	平成二十年
十七回忌	平成十六年
二十五回忌	平成八年
三十三回忌	昭和六十三年
五十回忌	昭和四十六年
百回忌	大正十年

※地域によっては二十三回忌、

二十七回忌をお勤めする所もあります。

※ご法事をお勤めされる際は、

お早めに善巧寺までご連絡下さい。